

14年6月分コメント

前日には、経営理念について書かせていただきました。私共が毎日提供させて  
いただいている目次決算書の裏には、事業の構図があります。左上です。  
経営者は、片手にロマン、片手に算盤という考えか、経営理念の大切  
と数字に強くなるのが大事だと思っています。

左の図の話もさせていたが、経営理念を実現するためには、  
経営者に未来への夢がなければなりません。夢も言葉と数字に  
したものが未来像だと思っています。そこには、社員の知遇も書かれています。  
今は昔くても未来に対して、夢や希望が持てれば、人間は頑張れる  
と思っています。

次に戦略と戦術について書きます。戦略は方向性です。これを  
やるのはトップです。これが一番苦しく大変です。経営者は現場  
で仕事をしているほうが楽です。しかし、現場で仕事ばかりについて  
戦略が誤っていると人の倍働いても利益は出ないと思えます。

逆に人の半分しか働かなくても戦略が正しいと利益は出ます。  
従って、正しい戦略で人の3倍働くと、絶対利益は出せます。  
3倍というのは、人の倍(16時間)働き、人一倍頭を使います。考え  
続けることです。事業構造を、いかにして利益を出せる体質  
の会社になるか。現場で働いているより早く疲れます。しかし、  
このことが、経営者は逃げなくてはならないと思えます。

戦術とは、やり方です。全社員一人一人が頭と体を使って考えるべき  
ものです。戦略に従って、戦術が考えられます。あくまでも戦術の上に  
戦略があります。戦術が正しく実行されているかどうかは、チェック  
しなければなりません。そのために目標があります。目標はチェックする  
ものです。表が数字で表わします。例えば、売上、粗利益、経常  
利益とかというものです。従って戦術と目標は一体となって  
運用されます。

経営者にとって一番大事なものは戦略です。トップが先頭に立って  
頑張らなければ、トップダウンの経営が正しいと思えます。経営のプロ  
が必要です。大企業の社長はサラリーマンの期間が長すぎるために  
責任を取る決断が出来なくなっています。タスキ、雪印がいい例です。  
知年社員をやった人間に経営者になってリスクを背負う判断は無理なの  
ではないでしょうか。我々中小企業は違います。社員と会社を守るために  
働いています。小なりといえども志は高いです。何よりも責任を負うという  
覚悟で経営をしています。むしろプライドを持っています。

日本経済は我々中小企業が頑張らないとダメになります。大企業  
の論理では人は辛せになりません。中小企業が日本の雇用を守りま  
す。左と云小きくとも誇りを持って働ける会社にしよう。

H.14.6.11 古田土 満